

デザインのイメージ
岩手山・チャグチャグ馬コの間・海の家

開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

第9号

平成 27 年 11 月 15 日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広聴広報常任委員会

たきざわ市議会だより

滝沢市議会の取組が
マニフェスト大賞
「優秀賞」受賞！

マニフェスト大賞とは、これまで注目を集めることの少なかった地方自治体の首長・議会の活動実績を募集・表彰するものです。
滝沢市議会では、今まで取り組んだ「議会改革」や、その結果を評価する「議会評価の仕組みづくり」、そしてその結果と併せて市民と交わした「議会のあるべき姿の議論を一連の取組として5部門中の「成果賞」に応募し、優秀賞受賞となりました。
今後、優秀賞の中から部門ごとに最も優れた取組に与えられる「大賞」が決定します。次号で詳しくお伝えします。

特報！

さらなる改革へ第一歩
「対話」を学ぶワールドカフェ

8月27日（木）、議場の入り口のロビー内で「議員研修会」を行いました。改選に伴い、9月会議や決算審査等4年の任期

この日は、議員が5グループに分かれて、これからの議会活動について話し合いを行いました。今後の活動に繋げる今回の研修内容について一部を紹介します。

テーマ
●議員の役割とは…
●議会改革とは…
●4年間で取り組むこと

滝沢市議会アドバイザの佐藤淳先生、青森中央学院大学 准教授の指導で進行了ました。5つのグループに分かれ、ワールドカフェの説明の後、テーマごとに席を移動し、模造紙への書き込みに合わせて意見交換が進みました。

改選後、初めての膝を付き合わせたフリートークの場として、議員一人一人の議会への想いや今後にむけた意欲的な発言が飛び交いました。滝沢市議会では今まで、議会フォーラム、議会報告会

滝沢市議会アドバイザの佐藤淳先生、青森中央学院大学 准教授の指導で進行了ました。5つのグループに分かれ、ワールドカフェの説明の後、テーマごとに席を移動し、模造紙への書き込みに合わせて意見交換が進みました。

改選後、初めての膝を付き合わせたフリートークの場として、議員一人一人の議会への想いや今後にむけた意欲的な発言が飛び交いました。滝沢市議会では今まで、議会フォーラム、議会報告会

市民懇談会などでさまざまな課題を提起しながら、意見交換の場を大切にしてきました。市民の声をしっかりと受け止めて、答えていくために、議員が一つになり、進むことが大切と考えています。

書き込みの紙面には「条例づくりに取り組みたい」「政策提言を進めたい」という大きく力強い記載があり、滝沢市議会の改選後の意見交換はこれからの第一歩として、充実したものとなりました。

話し合いの様子

『ワールドカフェ』ってなに？
話し合いを効果的に進めるやり方の一つです。参加者が少人数でも自由に発言し、他人のさまざまな意見に耳を傾ける機会を増やすために、話し合うテーマごとにテーブルを移動します。

議会改革とは…
政策提言型議会となるために、市民の意見を「議員間で討議」し、議会としての意思決定を行う。通年議会を生かし「広聴広報を充実」させることはもちろん、何よりも「議員の意識改革」が必要である。

先生から今後に向けてアドバイス
『滝沢市議会基本条例』の前文に、議員間討議の必要性が謳われています。
議員間討議の中には、目的を共有する「対話」を傾け、意見の多様性を知り、新しい知見を得るために行われる話し合いの仕方である「対話」が、これからのキーワードになると思います。

今後は、議員間での対話を活用して。

4年間で取り組むこと
市民の負託にこたえより良い環境整備の一つとして「条例の制定」特に取り組む。そのために「広聴広報の充実」「委員会の充実」を柱とし、前出の「議会改革」へも繋げて行きたいという方向性が出ました。

新人議員から
終えて一言
○議員になって、初めて肩肘張らないで話ができ、とてもいい経験となりました。
○今日のような雰囲気の中で、先輩議員の話も聞くことができ、いろいろと勉強になりました。
○この経験を通して、条例や政策を提案していきたいという気持ちがり強くなりました。
今後市民の声を広く聞き、政策提言等に反映していく決意を議員全員が再確認しました。

議会改革とは…
政策提言型議会となるために、市民の意見を「議員間で討議」し、議会としての意思決定を行う。通年議会を生かし「広聴広報を充実」させることはもちろん、何よりも「議員の意識改革」が必要である。

議案の審査結果	
9月会議	
全員賛成で議決した議案	
議案第 3号	平成27年度滝沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議案第 4号	平成27年度滝沢市介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第 5号	平成27年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
議案第 6号	平成27年度滝沢市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
議案第 7号	平成27年度滝沢市水道事業会計補正予算(第1号)
議案第 8号	平成27年度滝沢市下水道事業会計補正予算(第1号)
議案第11号	滝沢市営住宅条例の一部を改正することについて
議案第12号	字の区域を変更することについて
議案第13号	平成26年度滝沢市水道事業会計未処分利益剰余金及び資本剰余金の処分について
議案第14号	平成27年度滝沢市防災行政無線施設更新整備その2工事請負契約の締結について
認定第 3号	平成26年度滝沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を認定することについて
認定第 4号	平成26年度滝沢市介護保険特別会計歳入歳出決算を認定することについて
認定第 5号	平成26年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計歳入歳出決算を認定することについて
認定第 6号	平成26年度滝沢市下水道事業特別会計歳入歳出決算を認定することについて
認定第 7号	平成26年度滝沢市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算を認定することについて
認定第 8号	平成26年度滝沢市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算を認定することについて
発議第 1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2016年度政府予算に係る意見書

賛否が分かれた議案	
投票結果 ○賛成 × 反対 一欠席	1 齋藤 明
※1 長内信平議員は議長であるため採決には加わりません。	2 武田 哲
	3 日向 清一
	4 仲田 孝行
	5 小田島清美
	6 高橋 辰雄
	7 稲荷場 裕
	8 川原 涉
	9 日向 裕子
	10 川村 守
	11 藤原 治
	12 桜井 博義
	13 相原 孝彦
	14 角掛 邦彦
	15 村松 一
	16 工藤 勝則
	17 遠藤 秀鬼
	18 山谷 仁
	19 佐藤 澄子
	20 長内 信平
	表決議員数
	賛成票数
	反対票数
議案第 1号	平成27年度滝沢市一般会計補正予算(第2号)
議案第 2号	平成27年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第 9号	滝沢市個人情報保護条例の一部を改正することについて
議案第10号	滝沢市手数料徴収条例の一部を改正することについて
認定第 1号	平成26年度滝沢市一般会計歳入歳出決算を認定することについて
認定第 2号	平成26年度滝沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算を認定することについて
認定第 9号	平成26年度滝沢市水道事業会計決算を認定することについて
発議第 2号	私学助成の充実を求める意見書

請願	
件名	請願の趣旨
1	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願
2	私学教育を充実・発展させるための請願
結果	採択

11～12月
日程予定

11月26日(木) 各常任委員会
12月 2日(水) 議会運営委員会
12月 2日(水) 全員協議会
12月 9日(水) 12月会議※

12月11日(金) 各常任委員会
12月14日(月)～16日(水) 12月会議※
12月18日(金) 12月会議※
12月25日(金) 12月会議※

9月会議の傍聴者 97名
～お知らせ～
◎ホームページで「滝沢市議会だより」や「議会会議録」をご覧いただけます。
◎議場は、市役所4階です。
◎日程、内容は予定であり、変更する場合がありますので、ご了承願います。

傍聴に
おてんせ！

Q 市道以外の整備・補修の考え方は

A 地域での話し合いを継続し支援策を検討します



新志会
藤原 治 議員

問 市道以外の整備・補修で、かつて現道舗装された道路は、認定路線から漏れたと考えられないか。また、現道舗装した道路は市が責任を持つべきでは。

答 当時の認定基準に照らし合わせ、市道認定されなかったものと考えています。

問 原則として、道路の管理

Q 地域健康づくり連絡会の成果と問題点は

A 検診の受診率向上はしたが一般への周知が課題



公明党
相原 孝彦 議員

問 25年度から始まった「地域健康づくり連絡会の成果と問題点は」

答 昨年度は30自治会全てで実施し、各種検診の受診率も向上しています。

問 地域の実情を踏ま

Q 子育て支援のための医療費助成の取組は

A 環境整備を進め財政状況も見据えて検討します



日本共産党
仲田 孝行 議員

問 子育て支援で医療費の助成が県下最低ランクだが、現状認識と支援拡充を踏まえた今後の取り組み内容は。

答 小学生の入院に対する助成を今年8月から行っています。どこに住んでいても同じ水準で助成を受けられることが望ましく、県や他自治体の状況を踏まえ財政も見据

Q いじめ問題に係る第三者委員会報告後の取組は

A 「いじめ防止等対策協議会」を設置し再発防止に努めています



一新会
川原 渉 議員

問 第三者調査委員会の報告は、当該校の報告内容と差異があるが、当該校での新たな取組や認識の変化は。

答 第三者委員会の判断と提言を受け、「命」「正義」「信頼」のキーワードをもとに活動しています。

問 現在のいじめ認知件

Q マイナンバー制度の市民への説明は

A 国の動向を注視し丁寧に説明します



新志会
山谷 仁 議員

問 住民にとってのマイナンバー制度のメリット、デメリットは。

答 メリットは、社会保障などの給付申請などで添付書類が削減され、行政手続きが簡素化されます。

問 行政にとってのメリット、デメリットは。

答 メリットは、情報の照合、転記、入力などが紙から電子的に可能となり、作業に要する時間が短縮されます。また、不当に負担を免れることや不正受給を防止することができると、公平・公正な社会が実現できるとなどが挙げられます。

問 住民にとってのマイナンバー制度のメリット、デメリットは。

答 メリットは、情報の照合、転記、入力などが紙から電子的に可能となり、作業に要する時間が短縮されます。また、不当に負担を免れることや不正受給を防止することができると、公平・公正な社会が実現できるとなどが挙げられます。



一般質問 《9月会議》

Q 滝沢中央小学校建設中止の考えは

A 大規模校の教育環境改善のため考えていません



会派に属さない議員
武田 哲 議員

問 滝沢中央小学校の現在の取組状況と問題点は。

答 工事費の高騰と、予算編成上の理由から、最大2年の開校延期となる中、問題点を「財源確保」と「事業費圧縮」と捉え、財源確保について増額目標と各種事業見直し等による歳出削減目標を掲げ、収支均衡を保つ計画です。

問 小学校建設が与える影響も含め、今後の市の財政状況は。

答 歳出の扶助費、物件費、繰出し金等の義務的経費の増高という要因に押され、収支の不均衡が見込まれています。

問 滝沢中央小学校建設の中止し、学区の見直しを含め、市内小中学校に教員の加配など、教育環境の充実策に取り組む考えは。

答 今回の新設校建設は、県内1位、2位の大規模校の教育環境改善のため中止は考えていません。学区の見直しは慎重な対応が必要と考えています。

問 教員の加配については、県費負担教員の加配を受けているところであり、継続配置を今後も働きかけていきます。

Q 本市における介護政策は

A 現場の声に耳を傾け対処します



一新会
松村 一 議員

問 高齢化社会に伴う介護政策の必要性について、以下の点を質問します。

①要介護者の状態把握に
②要介護者に対する施設の充足度は。また今後の見通しと対策は。

答 ①介護認定基準に従い、公正判定しています。また、状態の変化が見られた場合は区分変更を進めるなど、適正なサービスが受けられるよう体制を整えています。

②入所待機者があり、その解消のため特別養護老人ホームの整備を計画し、運営事業者を公募しています。

③家族の介護負担軽減のため、相談者へのデイス

Q 基金・繰越金の活用で国保税の引き下げは

A 高額医療費など激変緩和の財源として使用します



日本共産党
桜井 博義 議員

問 国保会計の基金残高及び繰越金を充当するなどとして、引き下げる考えは。

答 27年度への繰越金は2億7000万円、基金残高は9月末で4億6000万円を見込んでいます。

問 国保会計の基金残高及び繰越金を充当するなどとして、引き下げる考えは。

答 27年度への繰越金は2億7000万円、基金残高は9月末で4億6000万円を見込んでいます。

問 国保会計の基金残高及び繰越金を充当するなどとして、引き下げる考えは。

答 27年度への繰越金は2億7000万円、基金残高は9月末で4億6000万円を見込んでいます。

Q 教育の相談しやすい体制の充実

A 相談できる場の周知や学校の環境づくりに努めます



公明党
小田島 清美 議員

問 児童生徒及び保護者が相談しやすい体制の現状と課題は。

答 各校においていじめ防止等のための基本方針を昨年度策定し、27年度当初に見直しました。各校にはスクールカウンセラーを配置し、相談

問 児童生徒及び保護者が相談しやすい体制の現状と課題は。

答 各校においていじめ防止等のための基本方針を昨年度策定し、27年度当初に見直しました。各校にはスクールカウンセラーを配置し、相談

Q 「子ども・子育て支援新制度」のきめ細かい事業内容は

A 児童数の推移を基に事業計画を策定しました



滝政会
稲荷場 裕 議員

問 「子ども・子育て支援新制度」に関連し、報道では①自治体単独の保育事業を利用②幼稚園の一時預かり③保護者が育児中の3点を隠れ待機児童としており、全国で1万3000人の隠れ待機児童がいると掲載されたが、市の隠れ待機児童数は。

答 3点は把握してないが、認可保育所待機児童は4月1日時点で1歳児が1人です。

問 保護者が求職中で入所を待っている等の広い意味で入所を待っている児童は45人です。

答 今後の児童数等の推移を基に、26年度末に事業計画を策定しました。

問 放課後学童施設の数と収容数は足りているのか。きめ細かく、児童数の多い地域の既存施設を利用するなど、地域と協働で行う分散型の増設の考えは。

答 現在、交流館での「チャグホ塾」と篠木の「たきざわつ子いきいきクラブ」の2箇所だが、地域の参画を得て、協力と既存施設の利用が不可欠であり、安全安心な子どもの居場所づくり活動が広がるよう、地域と話し合いを続けていきます。

平成26年度決算審査報告 決算審査の流れ

全体での審査

専門委員会での審査

全体での審査

本会議

現地調査

一般会計歳入審査

歳出審査

各専門委員会の報告

全体での自由討議

全体での総括的質疑

討論

採決

予算決算常任委員長報告

討論

採決

現地調査の内容はP6へ

討論の内容はP6へ

自由討議



自由討議とは、議員間で自由討議の場として、問題点を浮き彫りにしてさまざまな観点から討議します。審議の結果を出す過程の中で、議員相互の自由討議を中心に議論を尽くし、少数意見も尊重しながら合意形成に努め、市民に対する説明責任を十分に果たすものです。

今回の決算審査委員会では、政策や事業の必要性、実施方法についてさまざまな観点から論点を整理するために委員間の自由討議を行いました。自由討議のテーマは、各専門委員会が項目を提案し、討議しました。また、チームの一部を継続して常任委員会で調査を進めます。

学校教育の環境について

- 学校、教育委員会、地域の一体化した取組みが必要
- 読書や社会体験を今以上に進めていくべきである
- PTAの情報、地域の声を大切にすべきである
- 児童生徒の相談を多く、受け止められる環境づくりが必要
- 相談につながるような、生徒に寄り添う支援員の配置が必要
- いじめ対策の充実に向けて教育現場以外の人材登用が必要

窓口改善による効果について

- 申請用紙の記入が無い事で高齢者に優しい環境である
- 対応がスムーズになり滞りしさが出ている
- 来庁者等のプライバシーに触れる心配がある
- 番号札方式の説明はわかりづらく、足元の表示も暗いので気づかない部分の解消が必要
- 自動交付機の設置も必要



子育て支援(学童保育等)について

- 地域への行政の支援体制の強化を図るべき
- 高齢者の相談場所の確保が必要
- 地域の連携が大事

- 施設不足の現状を解消していくことが大切
- 運営面では、規模によって異なるため、市が主導し同じ環境をつくり子どもたちを見守るべきである

両テーマは、環境厚生常任委員会でさらに調査

農業振興について

- 低迷している稲作をどうするか。第3種兼業農家の生き残りをかけて多面的機能を上手に利用することも大事である
- 中山間地域で山にある草や木の葉を商品化して販売に成功した事例を参考にし、高齢者の農業参画を進める
- 担い手確保のために法人化していくことも必要
- 農業を経営として担い手に捉え、優れた担い手の手法などを伝えていく仕組みが必要
- 地域への行政の支援体制の強化を図るべき
- 若い人が「農業はカッコいい」と思えるような展開をしていくべきである

快適な道路環境の形成について

- 新しい団地の開発の際、除排雪環境を整えることが必要
- 除雪の当初予算の検証が必要
- 除雪の満足度をあげるために、地域だけの除雪は難しく、残った雪を地域で処理するのは限界がある
- 除雪機オペレータの技術訓練が必要

両テーマは産業建設常任委員会でさらに調査

総括的審査



問 経済収支比率が90%を超えている状況をどう考えているか。

答 基金もピーク時の半分以下となり、危機的な状況と考えています。

問 監査委員から事務処理の改善が多く指摘されているが、改善策は。

答 支払いの遅延等はチェックの仕組みを工夫するなど、良い取組事例を共有していきます。

問 財政の硬直化が叫ばれているが、審査で浮き彫りとなった各課題にどう対応していくのか。

答 財政の見直しの中で、特に歳入は負担のあり方など、今後市民の皆様と相談していく機会を考えています。

問 職員人件費は、構成比では減少傾向だが、どう考えているのか。

答 窓口での相談業務で、専門知識を持つ職員を臨時的に任用していることも影響しています。

問 歳入増のため、市内事業者に仕事を請け負ってもらうのが一番と思うが、公共事業に対する市内事業者の参入は。

答 土木等金額の大きいものは、広域や県外事業者が主となっています。公共事業そのものが増加傾向で、比例して市内事業者の経済指標も伸びています。

問 数値や金額の大小ではなく、市民のニーズを聞いて、アイデアをもらいながら取り組みます。

で、特に歳入は負担のあり方など、今後市民の皆様と相談していく機会を考えています。

問 市で受けた相談は、専門窓口を紹介するなど工夫してさまざまなケースに対応します。

問 日常生活を支える基盤づくりが重要と考えるが、私道への事業費は全体の0.1%にも満たない。どの様に考えているか。

答 幹線道路等も含んで考えれば、極端な数値ではありません。

問 数値や金額の大小ではなく、市民のニーズを聞いて、アイデアをもらいながら取り組みます。

問 男女共同参画の総合的な相談窓口のあり方をどう捉えているか。

答 市で受けた相談は、専門窓口を紹介するなど工夫してさまざまなケースに対応します。

問 日常生活を支える基盤づくりが重要と考えるが、私道への事業費は全体の0.1%にも満たない。どの様に考えているか。

答 幹線道路等も含んで考えれば、極端な数値ではありません。

問 数値や金額の大小ではなく、市民のニーズを聞いて、アイデアをもらいながら取り組みます。

一般会計歳入審査



一般会計の歳入については予算決算常任委員会において、委員全員が出席して行いました。

【質疑の内容】

問 25年と比較して、市民税の現年課税分が増収となった要因は。

答 個人分は景気の向上で給与所得が増。法人分は公共工事や復興事業で増。固定資産税は宅地評価額が下がった。すべて併せて3000万円の増となっている。

問 地域経営推進費はどのような事業に使われたのか。

答 市制PR、越前堰の設計、都市計画図作成のための航空測量など、他の補助がないものに対して活用した。

問 26年度は、市制PR、NHKのご自慢大会、岩手山の山開きなどに使用した。

問 地方交付税が増えた要因と今後の見通しは。

答 現在87.04%の収納率。

特別交付税 復興特別交付税減少、普通交付税が3億増加。市制に伴う福祉事務所の設置、生活保護費等が増額した。特別交付金は、減る傾向にあるため、他の税との兼ね合いで調整していく。世界経済の減速で増える要素は少ない。

問 農林水産業費補助金が減少した要因は。

答 見込んでいたハーパーの導入を断念した。ことによる「東日本大震災農業生産対策事業交付金」の減が要因。

問 保育所運営費国庫負担金過年度収入が25年度と比べ、26年度がゼロとなった理由。

答 25年度に精算されたため。

問 寄附金は「ふるさと納税」なのか。

答 寄附金の総額は152万5000円で、ふるさと納税は10件で25万5000円、一般寄附が5件で127万円。

問 学校給食費の収納率向上対策と未納者対策は。

答 現在87.04%の収納率。

率で定期的な督促、生活保護費からの天引き等を行っている。

未納対策は口座振替、進捗確認制度を活用し、校長の代理納付、児童手当からの天引き。今後は就学援助などの活用等を強化しながら、保護者の理解も深めていく。

問 市債における繰越事業が多いが、どれくらいの割合か。

答 借入額16億7千万円のうち、繰越明許は8件4億8千万円ほど。市債の割合は、34%で3分の1が起債である。

窓口改善等の庁舎の改修による効果は。

答 各課の標示や事務室の配置がわかりやすいと好評を得ている。申請書作成システムの導入により、市民サービス向上が図られた。

問 学校教育指導事業の事業費が倍増した要因は。また、学校教育専門員は足りているのか。

答 第三者調査委員会設置による経費の増です。学校教育指導主事を1名増員した。

問 不登校児童生徒の状況と対策は何か。

答 大規模校の中学生が多く、1学期の後半から多くなっている。対策は家庭訪問の実施、支援員を大規模校中心に派遣し、一人でも多くの不登校児童生徒が通常の生活に戻れるよう努力している。

問 滝沢ふるさと会の会員を増す対策と、東京在住の若者への対策は。

答 広報等で東京在住の会員に参加要請をしている。26年度は、商工会青年部が東京での総会に参加し、クリスマスローズ等の販売を行いながら滝沢の魅力を伝え、会員増に努めている。

問 在京の学生の参加は、具体的な取組みは進んでいるか、まち・ひと・しごと創生事業の関係から、インター・ウターンの取組みに、ふるさと会を絡めながら検討を進めている。

第2専門委員会質疑

問 各学童クラブでの課題や問題点、収支及び監査は適切か。特に繰越金の扱いは。

答 問題は施設の老朽化に伴う改修工事などがある。緊急性から優先順位を付けて対応していくが、小規模施設の運営は厳しくなっている。

【質疑の内容】

★一般会計 歳出

問 市内の一人暮らしの高齢者は何人いるのか。また、緊急通報体制整備事業の広報活動はどのような行い、その有効性は。

答 1人暮らしの高齢者は2312人で、高齢者全体の20.1%。広報は窓口、電話で対応し有効性を説明している。現在企業より「人感センサーを活用したシステム」や「QRコードでの確認システム」の提案を受けており、モデル的に始めている。

問 企業からの提案なので経費は発生しない。

答 各学童クラブでの課題や問題点、収支及び監査は適切か。特に繰越金の扱いは。

答 問題は施設の老朽化に伴う改修工事などがある。緊急性から優先順位を付けて対応していくが、小規模施設の運営は厳しくなっている。

第2専門委員会では、健康福祉部が担当する分野から「子育て支援」「高齢者支援」に関する事業を重点に審査しました。

★一般会計 歳出

問 市内の一人暮らしの高齢者は何人いるのか。また、緊急通報体制整備事業の広報活動はどのような行い、その有効性は。

答 1人暮らしの高齢者は2312人で、高齢者全体の20.1%。広報は窓口、電話で対応し有効性を説明している。現在企業より「人感センサーを活用したシステム」や「QRコードでの確認システム」の提案を受けており、モデル的に始めている。

問 企業からの提案なので経費は発生しない。

答 各学童クラブでの課題や問題点、収支及び監査は適切か。特に繰越金の扱いは。

答 問題は施設の老朽化に伴う改修工事などがある。緊急性から優先順位を付けて対応していくが、小規模施設の運営は厳しくなっている。

化に伴う改修工事などがある。緊急性から優先順位を付けて対応していくが、小規模施設の運営は厳しくなっている。

【質疑の内容】

★一般会計 歳出

問 市内の一人暮らしの高齢者は何人いるのか。また、緊急通報体制整備事業の広報活動はどのような行い、その有効性は。

答 1人暮らしの高齢者は2312人で、高齢者全体の20.1%。広報は窓口、電話で対応し有効性を説明している。現在企業より「人感センサーを活用したシステム」や「QRコードでの確認システム」の提案を受けており、モデル的に始めている。

問 企業からの提案なので経費は発生しない。

答 各学童クラブでの課題や問題点、収支及び監査は適切か。特に繰越金の扱いは。

答 問題は施設の老朽化に伴う改修工事などがある。緊急性から優先順位を付けて対応していくが、小規模施設の運営は厳しくなっている。

する分野からは「快適な道路環境の形成」に関する事業を重点に審査しました。

【質疑の内容】

★一般会計 歳出

問 担い手育成経営基盤強化支援事業で、事業費が減少した理由は。

答 経営指導多1ジャーが2名から1名に減ったもの。多忙ではあるが支障はない。

問 農地中間管理機構の状況は。

答 農地の賃借の申し込みは、貸したい人の面積は26畧、借りたい人の面積は148畧、うち成立した面積は24畧と特に草刈関係が多くなっている。

問 新規就農対策事業の就農者の経営内容をきちんと掴んでいるのか。

答 4経営体があり、水稲と施設野菜、露地野菜、果樹と野菜、種子生産です。1つが親元就農、他は転職者の就農。

★下水道事業特別会計

問 雨水の対応面積は変わらないのに予算が減額されている理由は。

答 国道4号の工事が遅れている他、整備を予定していた工事に不落が続いたため工事が遅れた。

問 除排雪の住民満足度32%をどう捉えるか。

答 厳しく受け止めている。自治会との除雪懇談会の議論も含め市民の理解に努力する。

問 市役所へ行くための公共交通の整備は。

答 福祉バス路線中心では、今後経費がかかる。公共交通は地域公共交通網整備で考える。

問 除排雪の住民満足度32%をどう捉えるか。

答 厳しく受け止めている。自治会との除雪懇談会の議論も含め市民の理解に努力する。

問 市役所へ行くための公共交通の整備は。

答 福祉バス路線中心では、今後経費がかかる。公共交通は地域公共交通網整備で考える。

議会報告会で寄せられたご意見

～取組状況報告～

滝沢市議会だより第7号でもご紹介しましたが、5月24日から6月3日まで、市内13会場で実施した議会報告会では、さまざまなご意見が寄せられました。

それらのご意見を、議会ではどの様に取り扱っているのかについて、主なご意見の集約状況や分類をお知らせいたします。

主なご意見は、次のとおり①～⑭に分類しました。

①防災・防犯
「防犯灯の増設」「防災無線の整備」「交番の設置」「防犯隊の設置提案など」

②教育
「子どものしつけと地域の連携」「図書館の充実など」

③伝統芸能
「地域の伝統文化の周知」「チャグチャグ馬」「前夜祭の継続」など

④地域づくり
「公民館等施設の改修」「市の地域づくり担当者の配置提案」など

⑤市の財政
「市の財政健全化」「税収の確保」など

⑥支所機能
「市の支所機能強化」「支

滝沢市議会だより第7号でもご紹介しましたが、5月24日から6月3日まで、市内13会場で実施した議会報告会では、さまざまなご意見が寄せられました。

それらのご意見を、議会ではどの様に取り扱っているのかについて、主なご意見の集約状況や分類をお知らせいたします。

主なご意見は、次のとおり①～⑭に分類しました。

①防災・防犯
「防犯灯の増設」「防災無線の整備」「交番の設置」「防犯隊の設置提案など」

②教育
「子どものしつけと地域の連携」「図書館の充実など」

③伝統芸能
「地域の伝統文化の周知」「チャグチャグ馬」「前夜祭の継続」など

④地域づくり
「公民館等施設の改修」「市の地域づくり担当者の配置提案」など

⑤市の財政
「市の財政健全化」「税収の確保」など

⑥支所機能
「市の支所機能強化」「支

委員会	課題として挙げられた項目
総務教育常任委員会	①防災・防犯 ②教育 ③伝統芸能 ④地域づくり ⑤市財政 ⑥支所機能
環境厚生常任委員会	⑦福祉バス ⑧地域福祉 ⑨児童福祉 ⑩高齢者福祉 ⑪健康 ⑫環境 ⑬火葬場・墓地
産業建設常任委員会	⑭除雪 ⑮道路(歩道含む) ⑯公共交通政策 ⑰都市計画(公園含む) ⑱観光 ⑲農業 ⑳産直

各常任委員会では、今

い」「公共交通網の整備」「買い物難民の対策」など

⑰都市計画(公園含む)
「公園がほしい」「公園の整備」など

⑱観光
「観光拠点の設置」

⑲農業
「婚活を含めた農業振興」「後継者づくりの必要性」「6次産業化の推進」など

⑳産直
「物産館での特産品の販売提案」など

常任委員会では、先

①～⑭に分類した項目は、左表の通り各常任委員会に振り分けました。

①防災・防犯 ②教育 ③伝統芸能 ④地域づくり
⑤市財政 ⑥支所機能

⑦福祉バス ⑧地域福祉 ⑨児童福祉 ⑩高齢者福祉
⑪健康 ⑫環境 ⑬火葬場・墓地

⑭除雪 ⑮道路(歩道含む) ⑯公共交通政策
⑰都市計画(公園含む) ⑱観光 ⑲農業 ⑳産直

後、寄せられたご意見を、含めながら、市全体の視点でそれぞれの課題の本質を議論します。

調査研究から政策提言へ
特にも課題解決に向けた取組が必要と判断したものについては、具体的な解決策等を研究し、政策提言に繋げることとしています。

議会では、政策提言を通じて行政と議論を行い、より住みやすい滝沢市の実現に向けて取り組めます。

環境厚生常任委員会
⑩の児童福祉に関連するものを重点項目として位置付け「緊急通報体制整備事業」「社会的居場所づくり支援事業」について、その事業の効果等を質問しました。

産業建設常任委員会
⑭の除雪と⑮道路(歩道含む)に関連するものを重点項目として位置付け「農業担い手育成対策事業」「新規就農対策事業」などについて、その事業の効果等を質問しました。

また、⑲の農業振興に関連するものを重点項目として位置付け「農業担い手育成対策事業」「新規就農対策事業」などについて、その事業の効果等を質問しました。

各常任委員会では、この質疑を踏まえて自由討論も行いました。

平成27年度滝沢市議会政務活動費調べ(4～7月) (単位：円)

No.	支払先氏名	4～7月分金額	精算金額	返納金	執行率	資料購入費	広報費	計	預金等利子
1	しののめ会(4名) 代表：熊谷初男	240,000	0	240,000	0.00%			0	
2	春緑クラブ(4名) 会長：角掛邦彦	240,000	0	240,000	0.00%			0	
3	一新会(3名) 代表：長内信平	180,000	0	180,000	0.00%			0	
4	新志会(3名) 代表：高橋盛佳	180,000	177,163	2,837	98.42%	7,200	169,963	177,163	
5	日本共産党(2名) 代表：武田猛見	120,000	0	120,000	0.00%			0	15
6	柳村一	0	0	0				0	
7	相原孝彦	60,000	19,604	40,396	32.67%	19,604		19,604	
8	川原清	60,000	41,634	18,366	69.39%	9,943	31,691	41,634	3
9	斉藤健二	60,000	3,600	56,400	6.00%	3,600		3,600	
	計	1,140,000	242,001	897,999	21.23%	40,347	201,654	242,001	18

※ 柳村一議員は、政務活動費の申請をしていません。
※ 「調査研究費」「研修費」「要請陳情等活動費」「会議費」「資料作成費」「事務費」「その他」については、支出はありませんでした。

『募集』コーナー

〇議会モニター
現在議会モニターは3名です。会議の傍聴などを通じて、よりよい議会運営に対する意見等をお願いしています。

〇議会サポーター
現在議会サポーターは7名の登録です。議会報告会などの企画運営のほか、議会ホームページや市議会だよりの作成支援など、さまざまな支援をお願いする予定です。

〇市議会だより掲載写真
主にメイン写真(1ページ)として掲載する写真を募集しています。

応募方法・お問い合わせ
〇モニター・サポーターは、それぞれ申込書があります。ホームページまたは議会事務局へご連絡ください。
〇申込書は、ファクス(684・4195)またはメールにて提出してください。

現地調査

調査の必要な事業を抽出し、現地を確認して審査の参考としました。
①事業名②事業費(H26)③事業の目的等④現地での質問内容



- ①盛岡西リサーチパーク管理運営事業
- ②2,717 千円
- ③企業集積による雇用拡大、地域の活性化や企業間連携の推進
- ④新たに雇用される人数の見通し



- ①総合公園陸上競技場改修事業
- ②81,931 千円
- ③第71回国民体育大会サッカー女子競技の開催に向けて、施設改修を実施
- ④芝の育成に必要な散水施設及び時計表示や掲示板等の整備について



- ①基幹水道施設整備事業
- ②68,121 千円
- ③排泥地を整備し、環境に配慮した水の安定供給を図る
- ④非常用発電機の設置状況及びその能力



- ①滝沢中央小学校建設事業
- ②237,531 千円
- ③新設する小学校用地の造成工事
- ④工事の際の表土の問題及び工事車両の出入りルートの支障の有無



- ①滝沢・雫石環境組合負担金
- ②1,058,540 千円
- ③ごみの適切な処理を図る
- ④滝沢市と雫石のごみの量の推移



- ①国営かんがい排水事業
- ②県事業
- ③老朽施設の全面改修による、営農活動の支援、農地保全を図る
- ④東日本大震災時の被害の有無



- ①中鶴飼上ノ山線交差点改良事業
- ②63,700 千円
- ③交流拠点複合施設開設に伴う取付道路等の整備。26年度は水路・樋問工事
- ④交流拠点複合施設への入り口との関連性



- ①交流拠点複合施設整備事業
- ②5,626 千円
- ③保健福祉の向上、生涯学習の推進、地域活動の支援、滝沢ブランドの発信、地域防災の強化を図る
- ④避難時の想定人数



- ①子育て支援対策臨時特例事業
- ②117,028 千円
- ③保育園を新設し、待機児童の解消、園児の保育環境の向上を図る
- ④入所児童数の状況及び滝沢市外からの児童の受入状況



- ①スマートインターチェンジ整備事業
- ②17,959 千円
- ③整備に係る実施設計、用地測量を実施
- ④工事費に係る市負担の変更の有無



- ①岩手県立大学周辺産業集積整備事業
- ②10,578 千円
- ③企業立地の支援や地域産業の進行を図る施設の整備
- ④賃料の算定根拠

討論

採決を前に、賛成・反対それぞれの立場から、演説を行いました。

◎一般会計

日本共産党 桜井博義
市制後最初の決算となり、市政になって市民から評価される決算であるのか。また厳しい財政事情にどう取組んだのかの視点が不可欠です。反対する点として①子育て世帯に冷たいことです。子どもの医療費に對して、市独自の助成がありません。県内市町村で最低になっています。②市内の事業者、中小企業は依然として厳しい中、イノベーションパークも全く利用されず、費用のみが膨らんでいます。③農業は、これまでの事業を踏襲するのみで、価格補てん、後継者対策の取組に欠けています。④交流拠点複合施設は大幅に予算を上積みしての事業で、結果的に他の事業のしわ寄せになることを否定しませんでした。⑤学校で痛ましい事件が発生し、二度と繰り返さないための具体的な施策もなく、第三者委員会の経費のみで済まされています。

◎国民健康保険特別会計

日本共産党 仲田孝行

水道料金を見直し、利益を個人負担軽減、福祉の増進のために優先して使うことを求めている反対討論とします。

◎水道事業特別会計

日本共産党 仲田孝行

26年度は国からの支援金があり、そのまま基金として積んでおり、約2億7000万円の残高です。25年度に税額を引き上げていたことから、その必要がなかったと考えます。基金を使うなどして低所得者層を中心に税額を引き下げるべきと考え、反対討論とします。

新志会 山谷仁
中期財政計画では財政力指数は0.55、経常収支比率は90.2%、経常一般財源比率93.6%、実質公債比率6.4%となり、市債残高が年々増加し、数年間は硬直した財政見通しです。

市制元年としては財政的不安要素も印象に残り、市民の喜びが伝わってこなかった決算と考え、反対討論とします。

国保税の収納率が向上していますが、所得の低い層では滞納者が多いのも事実です。階層をみて年収100万円以下では50%の方が滞納している一方、600万円以上では滞納者がいない状況です。